

「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」 モデル事業 個別事例調書様式

R6年度完成		事業名：主要地方道前橋安中富岡線（富岡交差点）	所属名	富岡土木事務所	区分
					道路(市街地)

1. 事業概要

■上信電鉄上州富岡駅から世界遺産「富岡製糸場」への観光ルートである、(主)前橋安中富岡線において、交差点改良、歩道整備及び無電柱化整備を行い、富岡市役所新庁舎及び世界遺産センターと一体となった景観づくりや観光誘客を図る。



2. 現場の特徴【ステップ1】

・沿道には、富岡市の新たなシンボルとなる「富岡市役所」と、歴史的な倉庫群である「富岡倉庫」を活用した世界遺産センターがある。

3. 事業目的【ステップ2】

①現場から何を見せるのか
・歩行者が憩う風景、にぎわいのある街。

②どこから現場自体を見せるのか
・歩行者の目線、観光バスの車窓、ベンチの休憩施設から魅せる。

③目指すべき目標像
・歩行者にやさしく、富岡市役所、世界遺産センターと道路が一体となった空間を創出する。

4. 専門家の助言の有無【ステップ4】（有）・無）

・隈研吾事務所の助言により歩道デザインを決定した。

5. 配慮内容【ステップ3】＜完成＞（整備前後の写真やコメント等）、計画済・計画中（想定される内容）＞



整備前



整備後



夜はライトアップ

○富岡市役所及び世界遺産センターの周辺施設と一体となった空間整備デザインを行い、歩いて楽しい、滞在して心地よい空間を創出する。

○歩道舗装は、世界遺産センターの広場と同一のものとし、歩道と広場が一体となった空間となるようにする。

○車道舗装は、上州富岡駅から富岡製糸場までを同一素材で統一する。

○電線の地中化を行い、良好な景観づくりを図る。